

教 育 目 標

一生懸命 学んだことを 人や社会に活かそう

教 育 キ ー ワ ー ド

一生懸命

～ 心の灯をともし 心の汗をながそう ～

《めざす児童像》

自ら判断・選択・探究する

一生懸命な児童

《めざす学校像》

児童と職員みんなが

一生懸命取り組む学校

自分のため仲間のためみんなのために

心の灯をともし心の汗をながす姿に感動する学校

《めざす教師像：みんなで学び続ける仲間》

1 AI：児童を愛し、認め、心にやる気の火を灯す

2 ATM：明るく楽しく前向きに取り組む

3 YY：やってよかった実践的・具体的校内研修

4 KKK：感謝・感動・キーワード

協力・共通実践・検証

みんなで学び合う校内研修：研修記録の確実な実施

◎学力を保証する『教師の指導力』を高める研修

○働き方改革推進 見直し・焦点化・視覚化・精査・整理整頓

・児童に向き合い、指導力を高める時間確保する

○『分からない児童の代弁者』となる教師をめざす

◎持続可能な社会の作り手となる児童を育てる研修

・一人一人の児童を主語にする学校教育を学ぶ

・誰一人取り残さない見取りを学ぶ

・主体的な学びを支援する伴走者の姿勢を学ぶ

◎『探究的な学び』を求める姿を育む研修

・教師が受けてきた教育とは全く異なるスタイルを学ぶ

・突き詰めるプロセスづくりを学ぶ

体験的・活動的・感動的な学びの実現を学ぶ

《学校研究》

〈研究主題〉

一生懸命 自ら判断・選択・探究する算数

《重点事項》

1 「させる」から「支える」生徒指導へ

・一生懸命に自分のため仲間のためみんなのために心の汗をながそうとする教育活動

・学びを生かし、人や社会とかわろうとする
子供同士の関わりやコミュニケーション力

(1) 目標を大事に 判断・選択を大切にする
安全安心な学級経営・学校生活

「学級びらき」「シン児童会活動」「行事」

(2) 自他の良さを認める「朝の会・帰りの会」
「学級日誌」「自学の振り返り」の継続

2 児童が目標達成・児童が主役の授業

(1) 学力を保証する教師の指導力

①個別最適×協働的×ICTの学びのスタイル

個別最適な学び児童が学習内容や学習形態を選択し
自己調整しながら進める指導の個別化・学習の個性化

協働的な学び多様な他者と協働し、よりよい学びを生み出す
必要に応じて協力し教え合う学び

ICT活用日常的：みんながいつでも 効果的：意図的

②児童が判断・選択 インプットアウトプット

(2) シンNTT (ねらい・展開・適用題) を生かした
主体的・対話的で深い学びの授業づくり

Nねらい①単元のデザイン (付けたい力の明確化)

②目的や必要感を感じさせる課題設定の工夫

T展開③クラウド活用 (既習・資料・動画・他者参照)

④児童に委ねる場面の設定 (活動時間・交流相手)

⑤話やすい基盤づくり (児童同士の関わりコミュニケーション力)

T適用題⑥教師の見取りと個への支援 (見取りと支援)

(3) 家でもう一度やりたくなる言葉かけ

(4) 「あわづユタか一生懸命」の継続

⑥いての目を見て、(共通点と相違点を) 聞こう

⑦けを話そう⑧なげて深めよう⑨ニバーサルデザイン

⑩ブレット (学習用端末) を効果的に使って

⑪こう「自分の考え」「振り返り」「授業一生懸命」

3 つよく健やかに生きることを支える

(1) 特別支援や不登校傾向児童への教育相談体制の充実

(2) ビヨンドコロナ対策やメディアコントロールを含めた

『さしすせそ』を元にした学校危機管理体制の確立

(3) スポチャレの取組を含めた夢中で運動する機会の設定

4 「学び続け支え合う職員風土」の醸成

(1) 効果的実践的短時間 OJT (YY 校内研修) 継続

(2) 「憧れのチーム・教師・同僚・人生像」の構築

「教師で良かった」「栗津小で良かった」と感動

教師生活を支える達成感・充実感・幸福感